

一真会報

発行所 妙法山 雲雷寺
編集長 住職 伊丹瑞廣
編集員 執事

報恩会・守護神祭・日朝上人大祭のご案内

六尺の塔婆を建立して感謝を伝える報恩会、各家の守護神の威光倍增等を祈願する守護神祭、そして眼病守護と学業成就の行学院日朝上人大祭を左記の通りお勤め致します。

当山の永代祀堂におられる方々の供養も同日にお勤め致しますので、皆様お繰り合わせご参詣下さいませ様、ご案内申し上げます。



六月二十二日(日) 一真会堂にて

午後一時より 報恩会(左記は当山施主にて)

第開世 寶塔院日寶上人 報恩謝徳
第二三世 一行院日圓上人 報恩謝徳
第二三世 瑞牙院日光上人 報恩謝徳
第二四世 瑞光院日章上人 報恩謝徳
伊丹家先祖代々 報恩謝徳

守護神祭・日朝上人大祭 当山永代祠堂加入者供養

午後二時半より お火焚き法要

ほうろく加持・虫封じ祈禱会(予約制)

左記日程にて、「ほうろく加持・虫封じ祈禱会」の勤修を予定しております。

日本ではその昔、頭痛は「悪鬼」の障り、子供達の体調不良は「疳の虫」が原因と言われてきました。この「ほうろく加持・虫封じ祈禱会」

では、多くの方が抱える頭痛除けと、子供達が健康に過ごす虫封じの祈願を致します。また、

七月の祈禱会は夏を乗り切る元気をいただくという祈願も込められております。

現在は、ほうろくの上にもぐさのお灸を据えて頭にかぶせる方法が一般的ですが、これはかつて炎天下で暑さ負けしていた武将が、兜の上からお灸を据えると、たちまち身体が全快したというお話から始まったとされております。これにより頭頂部にある百会のツボを刺激し、脳の活性化をはかると共に夏バテ防止、ストレス解消など様々な効果があるとされております。当法要は事前予約制ですので、皆様お繰り合わせご参詣下さいませ様、ご案内申し上げます。



七月二十七日(日) 一真会堂にて

午前十一時より ほうろく加持・虫封じ祈禱会

持参品 手ぬぐいやタオル等

ほうろく皿は高温の為、頭との間に置きます
水筒やペットボトル等の蓋が閉まる飲み物

祈禱料 お一人様 三千円也

多くの汗が出ますので、水分補給のご用意を
当日参加の方へは、祈禱札をお渡し致します

雲雷寺だより

○十一月二日

当山の一真会堂にて十一月の盛運祈願祭を厳修し、参詣者の家門繁栄と俱生靈神符着帯者の身体健全などを祈念致しました。

○十一月三日

当山の客殿一階にて、お会式萬燈の作成を檀信徒の皆様と共に行いました。

○十一月四日

前川清高様の亡父の十七回忌法要、並びに亡母の一周忌法要を、本田貫真執事がお勤め致しました。

森岡正子様のお勤め致しました。

○十一月五日

宮本節子様の亡夫の百か日法要を、本田貫真執事がお勤め致しました。

高田幸恵様の亡母の葬儀式を、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

○十一月六日

当山の客殿二階にて、第十四期紹繼塾の第七講が開講されました。

○十一月九日

当山の一真会堂にて月例施餓鬼会法要を、伊丹瑞廣住職がお勤めしました。

○十一月十五日

当山の一真会堂にて、株式会社リードライフ様

主催の「無料スマホ教室」が開催されました。

○十一月十六日

福井県一乗寺様にて歴代回忌法要が勤修され、伊丹瑞廣住職が出席致しました。

○十一月十七日

当山の一真会堂にてお会式法要が勤修され、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

○十一月二十一日

東京都日蓮宗大本山池上本門寺様にて第五十四回先師法要が勤修され、伊丹瑞廣住職が出席致しました。

○十一月二十三日

酒井まゆみ様の亡夫の葬儀式を、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

○十一月二十四日

当山応接室にてNPO法人響耀の理事会が開かれ、伊丹瑞廣住職が出席致しました。

○十一月三十日

宮澤裕之様の亡母の満中陰法要を、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

当山の一真会堂にて十二月の盛運祈願祭を厳修し、参詣者の家門繁栄と俱生靈神符着帯者の身体健全などを祈念致しました。

●十二月一日

佃侑志郎様の亡父の満中陰法要を、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

○十二月四日

静岡県熱海大観荘にて潮師法縁慰労会が開催さ

れ、伊丹瑞廣住職が出席致しました。

○十二月六日

当山の客殿二階にて、日蓮宗靈断師会近畿教区研修会が開催され、伊丹瑞廣住職が出席致しました。

○十二月七日

八木壽美子様の亡母の百か日法要を、東野昌明執事がお勤め致しました。

当山の一真会堂にて月例施餓鬼会法要を、東野昌明執事がお勤めしました。

○十二月八日

塘博隆様の亡父の葬儀式を、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

塚本敏之様の亡母の三回忌法要を、本田貫真執事がお勤め致しました。

竹村英男様の亡母の十三回忌法要を、本田貫真執事がお勤め致しました。

○十二月十日

普門香代子様の亡夫の百か日法要を、伊丹瑞廣住職がお勤め致しました。

当山の客殿二階にて、第十四期紹繼塾の第八講並びに閉講式が開講されました。

○十二月十二日

和氣祐造の亡母の三回忌法要を、本田貫真執事がお勤め致しました。

京都府日蓮宗本山本満寺様にて伊丹日章猊下一周忌法要が勤修され、伊丹瑞廣住職が出席致しました。

各法要についての注意事項（その1）

令和7年6月22日（日）午後1時より、雲雷寺一真会堂にて報恩会・守護神祭を勤修致します。その際に、報恩感謝のための卒塔婆供養（6尺塔婆）並びに各家守護神の威光倍增などの特別祈祷をご希望の方は、返信葉書にご記入の上、お申込み下さい。

報恩会 当山が6尺塔婆を建立して、感謝を伝える面々

第開世 寶塔院日寶上人 報恩謝徳 ・ 第二二世 一行院日圓上人 報恩謝徳
第二三世 瑞牙院日光上人 報恩謝徳 ・ 第二四世 瑞光院日章上人 報恩謝徳
伊丹家先祖代々 報恩謝徳

当山役員物故者の諸霊位・当山永代祀堂加入の諸霊位・当山檀信徒先祖代々の諸霊位

※皆様も、「〇〇家先祖代々の霊位」や過去帳記載の法名の申込が可能です。

当日出席される方

- ① 「塔婆・特別祈祷申込書(図1・2)」に必要事項を記入し、ポストへ。※切手不要
- ② 塔婆申込者は黄色、特別祈祷申込者は緑色の封筒(図3・4)に塔婆料・祈祷料とおそなえ料、お名前を記入し、当日に受付へお渡し下さい。
- ③ 報恩会終了後に粗供養を、また、特別祈祷申込者にはお札と福塩をお渡しします。

当日出席出来ない方

- ① 「塔婆・特別祈祷申込書(図1・2)」に必要事項を記入し、ポストへ。※切手不要
- ② 後日、塔婆の申込者には粗供養を、特別祈祷申込者にはお札と福塩を、請求書と共に発送します。

図1

報恩会 塔婆申込書(※一筆につき一紙を提出して下さい) (先祖代々の霊位も可)		建立のお名前
ご住所	ご氏名	ご電話番号

図2

守護神祭 特別祈祷申込書(※一筆につき一紙を提出して下さい)		教年	性別	祈願主名	願い事
◎願い事の例 家内安全・身体健全・金銭平癒・心願成就・商業繁栄・事業繁栄など ※眼病守護・眼病平癒・字彙成就・合格成就の四項目は、目上人特別祈祷となります。その際は一件五千円也ご山納願います。					
氏名	住所				

図3

報恩会	
塔婆料	
おそなえ料(お祈り)	
芳名	

図4

守護神祭	
祈神額	
おそなえ料(お祈り)	
芳名	

各法要についての注意事項（その2）

行学院日朝上人への祈願を申し込まれた方は、祈願札(図 4)をお渡しします。また、1 件の申込に対し、行学院日朝上人ゆかりの地でしかお譲りできない日朝水(図 5)と、祈願絵馬(図 6)を 1 つずつお渡しします。

絵馬に関しましては、最終的に当山の御宝前へ奉納致します。 下記の手順をお読み頂き、手順に沿ってお進み下さい。

当日出席される方

- ①特別祈祷終了後、祈願札・日朝水・絵馬(図 4・5・6)・福塩をお渡しします。
- ②その場で絵馬をお書きになられた場合は、受付へお渡し下さい。
- ③ご自宅にてお書きになられる場合は、後日当山へご奉納下さい。(郵送でも構いません)

当日出席出来ない方

- ①後日、祈願札・日朝水・絵馬(図 4・5・6)を、福塩・請求書と共にお送りします。
- ②ご自宅にて絵馬を書いて頂き、当山へご奉納下さい。(郵送でも構いません)

図 4



図 5



図 6



こちらは見本の絵馬です。状況により、お渡しする絵馬が変更される場合があります。

お火焚き(おひたき)法要 年2回開催について

当山ではお火焚き法要を年に1回、年末にお勤めしておりますが、現在は年に2回(6月と12月)に変更致しました。6月は下記の日程にてお勤め致しますので、お早めにお火焚き料(お布施)と共にご持参下さい。月参りの際にお渡しいただいても構いません。

令和7年6月22日(日) 午後2時半より

※報恩会等のお勤め後になりますので、時間の前後についてはご了承下さい

古い仏具、位牌、お札、遺影、人形などの魂を抜き、感謝を込めてのお焚き上げを致しますのでご参詣下さい。法要準備等がありますので、前日の午後5時までに当山にお預け下さい。その際、当山関係者による確認が御座いますので、下記の注意事項を必ずお読み下さい。

※注意事項※

① 宗教及び仏事に関係のない物はお預かり出来ません。

ご持参いただいてもお預かり出来ませんので、お持ち帰りいただきます。

② 可燃物及び不燃物は予め分けてご持参下さい。

例 お札のビニールカバー・数珠・破魔矢の鈴・陶器・ガラス・金属 etc

③ 遺影や個人撮影のアルバム等は、中身を取り出してお写真のみご持参下さい。

④ 人形やぬいぐるみ等は、機械類が入っている場合はお預かり出来ません。

⑤ 火柱調節の関係上、お火焚き場の容量には限界があります。

大量にある場合は複数に分けていただき、次回以降にご持参下さい。

⑥ その他サイズが大きい物や不明な物は、予め当山へご相談下さい。



ごあいさつ

新緑の候、皆さま方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

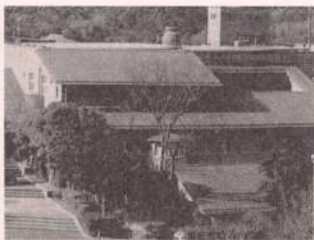
さて今年度のサマーセミナーは、メインテーマ“見つめよう、仏の心。”を軸に、サブテーマを“ありがとうを広げよう”とし「大阪府立少年自然の家」(大阪府貝塚市)にて開催させていただきます。

私たちの生活は様々な人や物のお陰で成り立っています。家族や友人に助けられた時「ありがとう」と感謝を伝えるのと同じように、普段気付いていないお陰にも感謝し、「ありがとう」を伝えることが大切ではないのでしょうか。

そこで今回のサマーセミナーでは、日蓮聖人を通し仏さまの教えから感謝の心を学び、子どもたちが本当の「ありがとう」を広められるようなカリキュラムを企画いたしました。

3日間、安全面には十分留意して参りますので、何卒ご参加のほど宜しくお願い申し上げます。

合掌



施設外観



宿泊部屋



屋外炊飯場



体育館

申込み要項

- 日 時 7月22日(火)～7月24日(木)
- 参加対象 小学3年生～中学生 30名
高校生以上(お手伝い) 若干名
- 参加費 1人 12,000円(高校生以上無料)
- 開設場所 大阪府立 少年自然の家
〒597-0102
大阪府貝塚市木積字秋山長尾3350
TEL 072-478-8331
- 集合日時 7月22日(火)午前9時30分
- 集合場所 妙福寺(みょうふくじ)
〒530-0053 大阪市北区末広町1-5
TEL 06-6312-5816
- 解散日時 7月24日(木)午後4時頃 解散予定
保護者の方は午後3時までにお越し下さい。
- 解散場所 妙福寺(みょうふくじ)
- 交通機関 往復:バス
- 申込方法 右の申込書にご記入の上、参加費を添えて
菩提寺または大阪日蓮宗青年会研修局
までお申込み下さい。
- 申込締切 6月30日(月)
ただし定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申込み下さい。

◎参加者には後日、持物や注意事項などの詳細を送付いたします。

集合・解散場所 大阪メトロ谷町線・堺筋線「南森町駅」
⑥番出口より徒歩2分



参加申込書

◎大阪日蓮宗青年会主催「2025サマーセミナー」に参加いたしますので、下記の通り参加費を添えて申込みます。

※持病(ぜんそく・アレルギー等)をお持ちのお子様で
特殊な対応が必要な方は裏面にご記入下さい。

参加費 ￥ 也

ふりがな				男・女
氏 名				
小・中・高・大	年生	今回	回目の参加	
生年月日	平成	年	月	日 歳

ふりがな				男・女
氏 名				
小・中・高・大	年生	今回	回目の参加	
生年月日	平成	年	月	日 歳

ふりがな				男・女
氏 名				
小・中・高・大	年生	今回	回目の参加	
生年月日	平成	年	月	日 歳

ふりがな				印
保護者氏名				
住 所	〒 -			
緊急連絡先	() -			
菩提寺				

キリトリ線

◎お子様が参加するにあたり特に注意してほしいこと、またサマーセミナーに対するご要望等がございましたらご遠慮なくご記入下さい。

※持病(ぜんそく・アレルギー等)をお持ちのお子様に特殊な対応が必要な方はご記入下さい。

今年の主なカリキュラム

おつとめ・キャンプファイヤー
工作・野外炊飯・プール

※天候等の事情により内容を変更する場合があります。

前回のサマーセミナー

前回のサマーセミナーは「信太山青少年野外活動センター」(大阪府和泉市)で開催いたしました。子供たちは2泊3日の体験で仏さまの教えを通して敬う心を学びました。



唱題行脚



キャンプファイヤー



工作



野外炊飯

大阪日蓮宗青年会 研修局
(担当 加藤 貫零)

〒530-0053 大阪市北区末広町1-5

TEL 06-6312-5816 / FAX 06-6364-3399

 Osaka Nissei

2025

第47回
夏の少年少女修養道場

Osaka Nissei SUMMER SEMINAR

サマーセミナー

今年のテーマ

ありがとうを広げよう



日時: 7月22日(火)~24日(木)

場所: 大阪府 貝塚市 大阪府立少年自然の家